

# 夜間学校 ニュース

1987 10/31  
 西成区秋ノ葉屋2の  
 8の9 旅路の里気付  
 釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の  
 指紋押なつ拒否断固支持！  
 定住外国人に市民権を

みんなでつくろう  
 みんなの会館  
 三人よれば何とかの知恵

毎週金曜日  
 夜七時より  
 市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

カジヤはカジヤにして

カジヤにあらがず

釜に来てまだ二年たらずのカジヤさんいわ

手帳を二くらえて二くら三  
 年の仲間の話を聞きたいと、  
 先週の夜間学校二コースで  
 訴えたら、さつそく一人の  
 仲間が来てくれた。  
 その人のいうには、最初  
 のころは、カジヤで仕事に  
 行つてもとまどろくことがあ  
 ったそうだ。  
 仕事をこしていること、もつ  
 とせやんとつけんか、と注

意される、そんなもんあと  
 で電氣や呼んだらええやん  
 か、というところ、お前カジヤ  
 で来てんのせよ、それが仕  
 事やろ。そう重ねていわけ  
 て、ようやくそうやったと  
 気がついたそうだ。  
 この人がいうには、釜で  
 カジヤといつていいる電氣や  
 ガスで溶接したり切ったり  
 する仕事を、工場仕事では

電氣や、ガスやと呼ぶそう  
 だ。で、カジヤというのは、  
 機械を組み立ててすえつけ  
 たり、修理したりする仕事  
 を受け持つ人のことをいう  
 そうだ。  
 だから、工場内の仕事で  
 は、カジヤが機械をすえつ  
 けるとき、ザット部分溶接  
 接しておいで、あとで、電  
 氣やなり、ガスやなりが来  
 て本格的に溶接する段取り  
 になつていいるらしい。  
 釜からカジヤで仕事に行  
 くと、なんでもせらされる  
 のが、最初は納得にくか  
 ったのは、そういうことが

あつたからと聞けば、な  
 るほどと考える。  
 手帳をつくったきつか  
 けは、一年前に神明から  
 仕事に来ていいる人と一緒  
 になつた時に、アブシの  
 仕組みなどを聞いて、自  
 分もつくる気になつたそ  
 うだ。  
 もとは、七六年に学校  
 を卒業して、造船、肉  
 係の修理をする下請会社  
 に入つてカジヤの仕事に  
 就いたのを始めとして、  
 久ボタヤ日立などの定期  
 修理の仕事に行つていた  
 ということだ。

手帳をこしらえてまだ一年の  
カジヤさんは、最近福祉セン  
ターの紹介窓口から仕事に行く  
ことが多いが、釜の仲間と一緒  
に仕事をすることが重なるうち  
に、技能訓練所の必要を感じた  
という。  
釜の仲間と一緒に仕事をす  
る、もどかしいことが多いらう  
だ、はつきり言えば、あまり仕  
事を知らない、ある仲間は、に  
いややん、はったりが大切やで、  
それだけの腕があつたら、はつ  
たりきかさんでもいけるやろう  
けど」と言ったという。  
なるほどと見ると同時に、釜  
の労働者は、正式に訓練を受け  
る機会がなく、見よう見まねで  
カジヤをやっているのだから、  
それでいい、技能訓練の機会を  
あたえないで、使ひ捨てにしよ  
うとしている資本の側もムシの

いいことをしようとしているの  
だから。しかし、同じ仕事をす  
るのなら、せめて仕事をきつちり  
覚えらる場所、訓練所が保障  
されて、ウロ覚えではなく仕事  
をするようになれば、もつとみ  
んながいきいきするのではない  
か、とも考えたという。  
今、企業では、合理化が激し  
く、補修に必要を人員すらクビ  
を切ったり、配転したりして確  
保していないところが多く、正  
社員のかわりに、月に十五日ぐ  
らい日雇いのカジヤを入れてい  
る。これからは、そんな仕事も  
ボロボロ増えるのではないが、  
そんなことを考へれば、技能訓  
練所をこしらえて、みんなが仕  
事につきやすくなることは必要  
だと思ふ。とも言ひめた。  
仲間たち、釜に新しく来た仲  
間の考へをどう思ふ。

現在の日本では、鉱山・鉄鋼  
業・造船などの分野で、クビ切  
りが横行している。以前は、た  
て前の上だけのことで、雇用  
確保は会社の社会的責任とい  
うことが言われていたのだが、最  
近はさうようなたて前すらかな  
ぐりすてての、ただひたすらな  
企業防衛のためのクビ切りが横  
行している。  
釜の手帳持ちが、釜の労働者  
が増え続けているのは、このよ  
うな日本全体の動きと密接に関  
連していることだと思ふ。  
大阪府労働部や市町村職  
などは、労働者の増える原因を  
世の合理化、クビ切りと結びつ  
けて考へると、対策を従来のワ  
クを拡げて考へなくてはならな  
くなる要因をかかえ込んたこと  
なので、日雇でないものの手帳  
所持が増えたせいで、困ったこ

とだ、ということがますますよ  
うとしている。  
仲間達、我々は、我々の仲  
間が増え続けるその原因、な  
ぜかということをよく知らな  
ければならない。  
なぜなら、ただ人が増え  
たとボーッとしていること、仕事  
のうばい合ひ、仲間うちの競  
争ばかりが強まつて、いつま  
でたつても問題が解決しない  
からだ。  
仲間達、とりわけ、二三年に  
二三年のうちに釜に来た仲間  
ぜひとも話を聞かせて下さい。  
また古い仲間も、最近、ま  
た人の話を知つているのであ  
れば是非、知らせして下さい。  
今の日本の状況は、労働者  
に一方的にツツ寄せさせられ  
ている死当なものだ。ハネ返す  
ために、まず、事情をよく知らう。